

特別支援教育  
サマーセミナー

# 自立活動の指導

学ぼう!語ろう!!やってみよう!!!

2学期から



## 研修④ 自立活動の指導



以下のような日程で行う予定でした。

13:20~14:10	自立活動の指導Ⅰ 「自立活動について考えよう」
14:10~14:20	休憩（準備）
14:20~16:10	自立活動指導Ⅱ ・実践発表 ・グループ討議 「自立活動について語ろう」他
(途中休憩10分)	
16:05~16:10	まとめ
16:10~16:20	アンケート記入，閉会

ホントに，はじめに…

自立活動の指導に対する問題意識「悩み？」



どうやって  
指導したら？

実態把握の方法は？

そもそも  
自立活動の指導って？

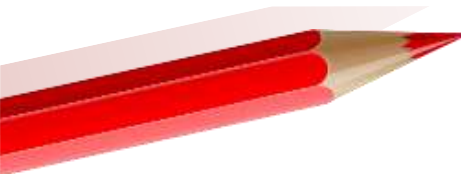
指導目標や  
内容の設定は？

評価は？

# ホントに，はじめに…



自立活動の指導に対する問題意識「悩み？」



どうやって  
指導したら？



ぼくたち  
どうしたら？



そこで、今日は

自立活動の指導について

「学ぼう（知ろう）！

語ろう！！

やってみよう！！！」

2学期から



そこで、今日は

自立活動の指導について

「学ぼう！語ろう！！やってみよう!!!」

2学期から



## 研修のねらい

自立活動についての考え方を理解し、  
自立活動の指導の実際を見直す機会とする。

# 自立活動について 学ぼう



# 自立活動って？

他にも…





# 自立活動って？



## 困っている子どもたち

うまく字が  
書けない...



提出物をよく  
忘れちゃって...



すぐにイライラして  
物を投げてしまう...



# 自立活動って？

子どもたちに対して



どの教科で教えますか？

注意を繰り返して改善されましたか？

原因を探って、丁寧に指導する  
必要はありませんか？

自立活動の指導

# 自立活動について 学ぼう

「自立活動とは？」

「自立活動の指導って何をするの？」

「どう指導すればいいの？」

▶ 特別支援学級の教育課程  
における自立活動の位置  
付けについて

▶ 自立活動の目標・内容に  
ついて



# 自立活動について 学ぼう



自立活動とは、

- 特別支援学校の教育課程において設けられている指導領域です。
- それぞれの児童生徒の実態に応じて指導内容が設定される個に応じた指導です。
- 障害による学習上・生活上の困難さを改善・克服していく指導です。



# 自立活動について 学ぼう



自立活動とは、

➤特別支援学校の教育課程において設けられている指導領域です。

## 自立活動の目標（特別支援学校教育要領・学習指導要領）

個々の児童又は生徒が自立を目指し，障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識，技能，態度及び習慣を養い，もって心身の調和的発達の基盤を培う。

# 自立活動について 学ぼう



自立活動とは、

➤特別支援学校の教育課程において設けられている領域です。

今回の学習指導要領において、特別支援学級及び通級による指導における特別な教育課程の編成に係り「自立活動」について示された。

小学校学習指導要領総則（中学校も同様）

障害による学習上・生活上の困難を改善・克服し自立を図るため、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す自立活動を取り入れること。

「通常の学級においては…」

# 自立活動について 学ぼう



特別支援学級の子どもたち

障害による学習上・生活上の困難さのある子どもたちが在籍している。

自立活動の目標（特別支援学校教育要領・学習指導要領）

個々の児童又は生徒が自立を目指し，障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識，技能，態度及び習慣を養い，もって心身の調和的発達を培う。

この困難さを改善・克服していく指導が自立活動です。

# 自立活動について 学ぼう



自立活動とは、

➤ 特別支援学校の教育課程において設けられている指導領域です。

## 小・中学校の教育

- 生活年齢に即した系統的・段階的な指導
- 発達の段階等に即して選定されたものが配置されている。



人間として調和のとれた育成が期待

## 障害のある児童生徒

- 障害によって、日常生活や学習場面において様々なつまずきや困難が生じる。
- 心身の発達の段階等を考慮して教育するだけでは十分とは言えない。



個々の障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための指導が必要

いつ、何を指導するのは、指導を担当する教師が、児童生徒の障害の状態や発達の段階等を踏まえて決定しなければならない。



# 自立活動について学ぼう



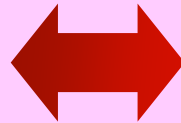
自立活動とは、

➤ 特別支援学校の教育課程において設けられている指導領域です。

学校の教育活動全体を通じて行う自立活動の指導については、  
自立活動の時間における指導と各教科等の指導との密接な関連を保つことが必要である。

## 学校の教育活動全体を通して適切に行う

自立活動の時間  
における指導



各教科等での指導

時間における指導以外の自立活動の指導

- ・ 教科の目標を達成するために、個々の困難に配慮する。
- ・ 個々の課題を明確にした支援が必要になる。

各教科等を合わせた指導

- ・ 学習場面や生活場面で自立活動の指導を行う。
- ・ 個々の課題を明確にして、どの場面でどのような指導や配慮が必要になるかについて具体的な計画が必要になる。

# 自立活動について 学ぼう



## 自立活動の指導と「合理的配慮」

…学校教育における合理的配慮は、障害のある児童生徒が他の児童生徒と平等に教育を受けられるようにするために、障害のある個々の児童生徒に対して、学校が行う必要かつ適当な変更・調整という配慮である。

障害のある子どもが、他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を享受・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、障害のある子どもに対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に個別に必要とされるものであり、学校の設置や及び学校に対して、体制面、財政面において均衡を失した又は、過度の負担を課さないもの。

# 自立活動について 学ぼう



## 自立活動の指導と「合理的配慮」

### 【例】小さい文字が見えにくい弱視の児童の支援

#### 指導という視点

弱視レンズ等を使用するための知識，技能，  
態度及び習慣を養うことを目的に指導する。

→自立活動

#### 配慮という視点

他の児童と平等に授業を受けられるようにす  
る目的で，拡大したプリントを用意する。

→合理的配慮

どちらか一方をすればよいということではなく，両方の視点で見ながら支援を考えることが大切。

「『必要な』支援と『適切な』指導を」

# 自立活動について学ぼう

自立活動とは、

➤ それぞれの児童生徒の実態に応じて指導内容が設定される個に応じた指導です。

6区分27項目は、自立活動の具体的な指導を行うために必要となる要素を示しているものであり、各教科等のように、すべてを行うものではありません。

障害のある児童生徒一人ひとりの状態に合わせて、27項目から必要な要素を選び出し、それを具体的な指導として構築することになります。



## 自立活動の内容（6区分27項目）

健康状態の維持・改善

健康の保持

気持ちや情緒のコントロール  
自己の良さに気付く

心理的な安定

自他の理解  
集団参加の基盤

人間関係の形成

感覚の活用，概念

環境の把握

身体の動き

身体の基本動作

コミュニケーション

場や相手に応じた  
コミュニケーション

# 自立活動について学ぼう



自立活動とは、

➤それぞれの児童生徒の実態に応じて指導内容が設定される個に応じた指導です。

## 自立活動の内容（6区分27項目）

生活リズムを整えて遅刻をしないでほしい。

健康の保持

突然パニックにならないで落ち着いて過ごしてほしい。

心理的な安定

友達に嫌なことを言わないでほしい。

人間関係の形成

学習に集中してほしい。

環境の把握

要求や拒否が伝えられるようになってほしい。

身体の動き

コミュニケーション

先生方が普段やっている指導・支援がまさに自立活動

# 自立活動について学ぼう

生活リズムを整えて遅刻をしないでほしい。

突発的パニック発作が起きて過剰な反応を示さないでほしい。

友達に嫌なことを言わないでほしい。

学習に集中してほしい。

要請や拒否が受け入れられないでほしい。

# ちょっと待った!

# 自立活動について 学ぼう



「ちょっと待って!!その願い，ホントに子どもの願いかな。」 字余り…



突然パニックにならないで  
落ち着いて過ごしてほしい。



(Aくんが通りすがりに体が  
当たってしまい)  
Aくんが僕を叩いたんだ。



学習に集中してほしい。

教師の悩み…?

要求や拒否が伝えられる  
ようになってほしい。



授業が分からない…  
難しい…。



なんて言ったらいいか  
分からない。

# 自立活動について 学ぼう



子どものホントの願いをつかんで

「**これ**ができたなら、**これ**が改善されたら、  
学習や生活が豊かになるだろうな…。」

をキーワードに指導に当たっていきたい。



# 自立活動について 学ぼう



自立活動とは、

➤障害による学習上・生活上の困難さを改善・克服していく指導です。

## 自立活動の目標（特別支援学校教育要領・学習指導要領）

個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達<sup>1</sup>の基盤を培う。

# 自立活動について 学ぼう



## 自立活動の目標（特別支援学校教育要領・学習指導要領）

個々の児童又は生徒が自立を目指し，障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識，技能，態度及び習慣を養い，もって心身の調和的発達の基盤を培う。

### 「自立」とは

児童生徒がそれぞれの生涯の状態や発達に段階等に応じて，主体的に自己の力を可能な限り発揮し，よりよく生きていこうとすること。

# 自立活動について 学ぼう

自立活動とは、  
「心身の調和的発達の基盤を培う。」

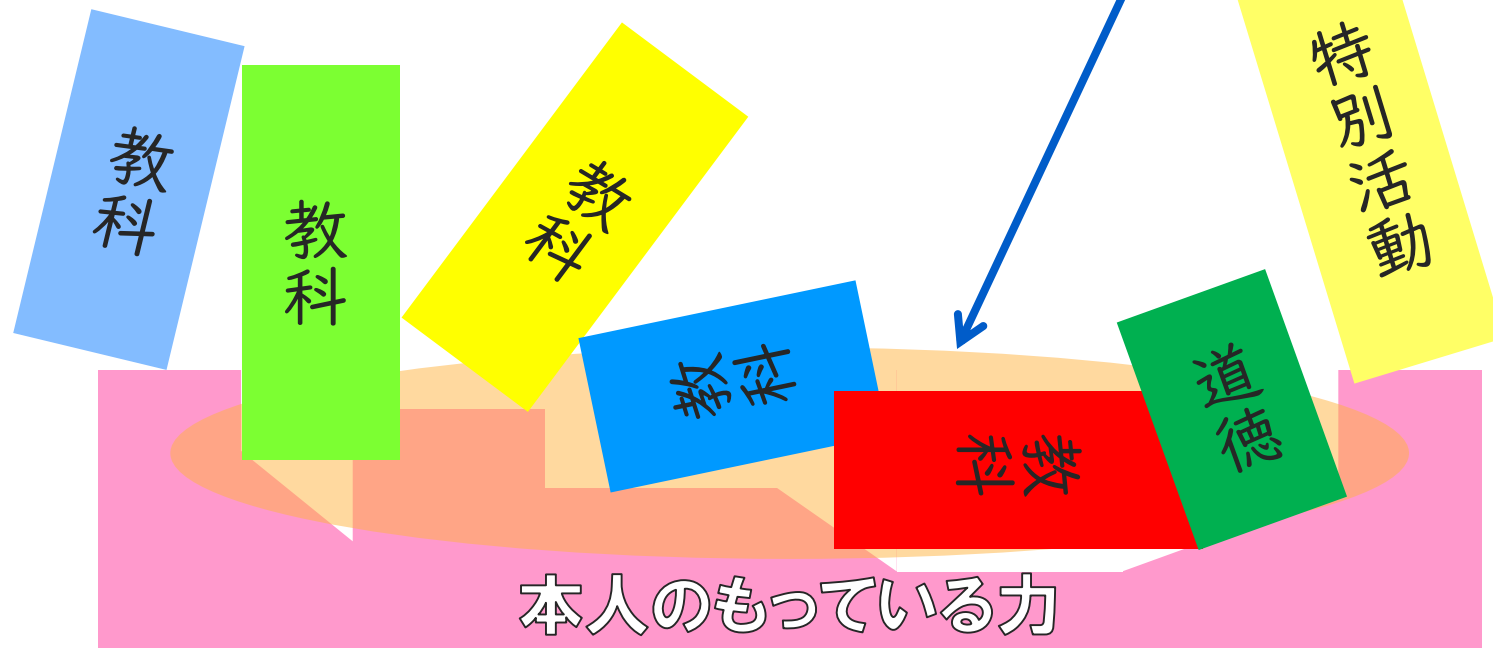
育成を目指す資質・能力  
「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力，人間性等」

**基盤**  
自立活動

# 自立活動について 学ぼう

自立活動とは、  
「心身の調和的発達の基盤を培う。」

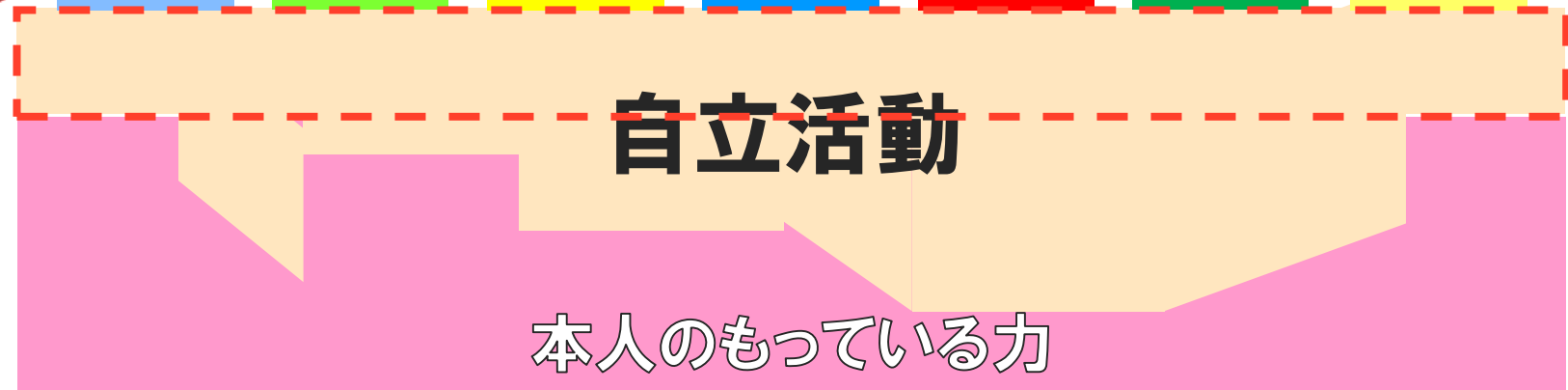
学習上・生活上の困難



# 自立活動について学ぼう



自立活動とは、  
「心身の調和的発達の基盤を培う。」



# 自立活動について 学ぼう



自立活動とは

- 障害による学習上・生活上の困難さを改善・克服していく指導です。

人間としての基本的な行動  
を遂行するために必要な要素

障害による学習上又は生活上の困難  
を改善・克服するために必要な要素

# 自立活動について 学ぼう



自立活動とは

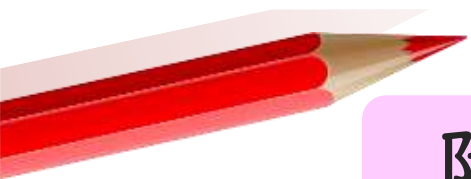
➤障害による学習上・生活上の困難さを改善・克服していく指導です。

人間としての基本的な行動を遂行

→人として生きていく上で必要なこと

障害による学習上又は生活上の困難

→子どもたちが困っていること（困り感）



# 自立活動について学ぼう



## 自立活動の内容 6区分27項目

区分	1 健康の保持
内容	・ 生命を維持し、日常生活を行うために必要な身体の状態の維持・改善を図る。
項目	(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事。 (2) 病気の状態の理解と生活管理に関する事。 (3) 身体各部の状態の理解と改善に関する事。

区分	4 環境の把握
内容	・ 感覚を有効に活用し、空間や時間等の概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し行動できるようにする。
項目	(1) 保有する感覚の活用に関する事。 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。 (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事。 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。

生きていく上で必要なこと  
学習上・生活上で困ること

区分	3 人間関係の形成
内容	・ 自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う。
項目	(1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。 (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。 (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。 (4) 集団への参加の基礎に関する事。

区分	6 コミュニケーション
内容	・ 場や相手に応じ、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする。
項目	(1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。 (2) 言語の受容と表出に関する事。 (3) 言語の形成と活用に関する事。 (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。 (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事。



# 自立活動について 学ぼう



子ども一人一人のニーズに合った項目を選び、相互に関連付けて指導内容を考える。

# 自立活動について 学ぼう



自立活動とは、

- それぞれの児童生徒の実態に応じて指導内容が設定される個に応じた指導です。

自立活動の指導に当たっては、個々の児童又は生徒の障害の状態や特性および心身の発達の段階等の的確な把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、指導目標及び指導内容を設定し、個別の指導計画を作成するものとする。その際、第2に示す内容の中からそれぞれに必要な項目を選定し、それらを相互に関連付け、具体的に指導内容を選定するものとする。

個別の指導計画の作成と内容の取扱い（小・中学部学習指導要領）

# 自立活動について 学ぼう



自立活動とは、

- それぞれの児童生徒の実態に応じて指導内容が設定される個に応じた指導です。

子どものホントの願いをつかんで指導に当たっていくために…

子ども一人一人の障害の状態や発達の段階等的確な把握に基づいた「個別の指導計画」の作成が必要になります。

課題の明確化

指導の意図性、  
計画性の明確化

指導の一貫性

情報の共有と引継ぎ

# 自立活動について学ぼう



## 子どものホントの願いをつかんで指導に当たっていくための「個別の指導計画」の作成

- (1) 「実態把握」
- (2) 「指導すべき課題の整理」
- (3) 実態に即した「指導目標の設定」
- (4) 目標を達成するために必要な「項目の選定」
- (5) 選定した項目を関連付けた「具体的な指導内奥の設定」

【自立活動シート】

The form is titled '自立活動シート' and is divided into four main sections:

- 1. 実態把握 (Understanding the Situation):** A table with columns for '本人の得意なこと、頑張っていること、好きなおこと' (What the student is good at, enjoys, or likes) and '本人の苦手なこと、困っていること' (What the student is weak at or struggles with). Below this is a section for '子どもの願い' (Child's wishes).
- 2. 指導目標の設定 (Setting Instructional Goals):** A section for setting goals based on the student's situation. It includes a table for '指導目標の設定' and a section for '指導目標の選定' (Selection of Instructional Goals).
- 3. 指導項目の選定 (Selection of Instructional Items):** A table for selecting specific instructional items. It has columns for '指導項目' (Instructional Item), '学習の目的' (Learning Purpose), '学習の手段' (Learning Method), and '学習の場' (Learning Environment).
- 4. 具体的な指導内奥の設定 (Setting Specific Instructional Content):** A section for setting specific instructional content. It includes a table for '具体的な指導内奥の設定' and a section for '具体的な指導内奥の設定'.

# 自立活動について 学ぼう



子どものホントの願いをつかんで指導に当たっていくために…

## (1) 実態把握

「まずは、子どもの実態を把握しよう。」

### 子どもの姿

本人の得意なこと, 頑張っていること, 好きなこと

本人の苦手なこと, 困っていること

障害の状態や, 発達や経験の程度, 興味・関心, 生活や学習環境などについて情報収集

学習面や生活面で子どもが困っていることを書き出していく。保護者からの聞き取りも参考に。

### ※背景要因について

背景要因を推測するに当たっては, 障害特性や発達に関する諸検査等の結果, 自立活動の内容の6区分を参考にする。

# 自立活動について学ぼう



自立活動の指導を実践していくために、「指導すべき課題は何か…」について考えてみましょう。

## 子どものホントの願いをつかんで指導に当たっていくために… 「まずは、子どもの実態を把握しよう。」

### 1 実態把握

子どもの生活や学習において、本人の得意なことや頑張っていること、苦戦していることや困っていることを書いてみましょう。  
\*苦戦していること、困っていることの中で優先順位が高いものに◎をつけてみましょう。

子どもの姿	
本人の得意なこと、頑張っていること、好きなこと	本人の苦手なこと、困っていること
<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の思いをもち、相手に伝えようとする。</li><li>・好きなことは、読書やブロック遊び。それに没頭できる。</li><li>・一人の時間をとることで、気持ちが落ち着くことをわかっており、自分で調整しようとする。</li><li>・友だちと一緒に遊びたい気持ちを持ち、関わろうとする。…</li><li>・自己肯定感が高く、興味のあることに意欲的に取り組んだり創意工夫をしたりする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◎自分の思い（やりたいこと・ルールなど）を通そうとして、友達とトラブルになったり、非難されたりすることが多い。</li><li>◎人と合わせたり、集団での活動に参加したりするのが苦手である。</li><li>・思いが通らなかつたり、急な変更があつたりすると、カッとなってたたいたり、飛び出したりすることがある。</li><li>◎人にぶつかる、足を踏むなどからトラブルになることがある。</li><li>・筆圧が強く、字を書くと疲れやすいが、最後までがんばろうとする。</li></ul>

子どもと話をしてみ、関わってみ、遊んでみて…  
・興味・関心を持っていること  
・生き生きと取り組む活動  
・その子らしさ、良さなどを書きます。

・子どもが困っていることを書き出します。  
・保護者やかかわりのある教職員が気付いている子どものことも参考になります。

# 自立活動について 学ぼう



自立活動の指導を実践していくために、「指導すべき課題は何か…」について考えてみましょう。

子どものホントの願いをつかんで指導に当たっていくために…

## (2) 指導すべき課題の整理

「子どもの実態について整理しよう。」

…収集した情報を自立活動の区分に即して整理する。

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション

※背景要因について  
背景要因を推測するに当たっては、障害特性や発達に関する諸検査等の結果、自立活動の内容の6区分を参考にする。

# 自立活動について学ぼう



自立活動の指導を実践していくために、「指導すべき課題は何か…」について考えてみましょう。

子どものホントの願いをつかんで指導に当たっていくために…  
「子どもの実態について整理しよう。」

「児童生徒の実態」の整理（自立活動の区分に即して）を通して、自立活動の指導内容に関する理解を深めよう。

◎がついた子どもの姿について、要因や背景をさぐってみましょう。

\*「自立活動の6区分27項目」に即して整理してみましょう。

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	<ul style="list-style-type: none"><li>自分の思いを受けとめてもらえないと、感情を抑えにくい。</li><li>これからの予定が分かると、安心して取り組み。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>相手の気持ちや状況をとらえにくい、友達とかかわりたい気持ちを持っている。</li><li>状況に応じて友達とかかわることが苦手である。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>周囲の情報を、視覚や聴覚など様々な感覚を使って把握するのが苦手である。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>体に不器用さがあるが、一生懸命取り組む。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>場の状況や友達の様子をとらえにくい。</li><li>自分の気持ちや思いを、うまく相手に伝えることが苦手である。</li></ul>

・要因や背景となっていることは、一つの区分しか関連していないということはありません。  
・すべての区分について記入するのではなく、子どもにとって必要な区分を選択して書きます。



# 自立活動について 学ぼう



自立活動の指導を実践していくために、「指導すべき課題は何か…」について考えてみましょう。

子どものホントの願いをつかんで指導に当たっていくために…

## (3) 実態に即した「指導目標の設定」

「子どもの学習上又は生活上の困難は何かについて考えよう。」

児童生徒が学習や生活場面において「これができたら、ここが改善されたら、学習や生活がもっと楽しくなるだろうな。」と思われる課題について考えよう。

めざす姿

☆現在の子どもの姿から1年後に「めざす姿」を設定する。

いくつかの課題の中で優先する目標を。

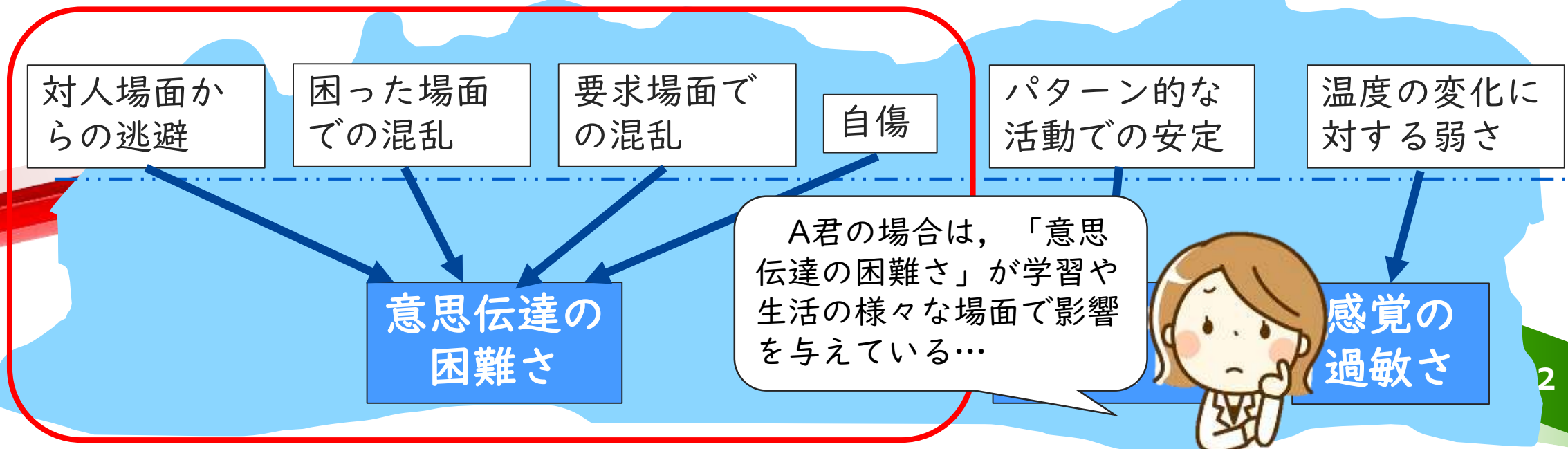
本人の思いや願い（本人が困っていること）。保護者の意見も参考に。

# 自立活動について学ぼう



自立活動の指導を実践していくために、「指導すべき課題は何か…」について考えてみましょう。

子どものホントの願いをつかんで指導に当たっていくために…  
児童生徒が学習や生活場面において「これができたら、ここが改善されたら、学習や生活がもっと楽しくなるだろうな。」と思われる課題について考えよう。



# 自立活動について学ぼう



自立活動の指導を実践していくために、「指導すべき課題は何か…」について考えてみましょう。

子どものホントの願いをつかんで指導に当たっていくために…  
 「子どもの学習上又は生活上の困難は何かについて考えよう。」

## 2 指導目標の設定

「実態把握」をもとに、優先する目標を1つ選び、長期の目標（1年後）を書いてみましょう。

\*現在の子どもの姿から1年後に「目指す姿」を設定してみましょう。

め ず す 姿	【長期（例：1年間）】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと声を合わせて歌ったり、音読したり、簡単なゲームを楽しんだりする。</li> <li>・友だちのしたいことを聞いたり、話し合っ決めてたりする。</li> </ul>

## 3 指導目標の選定

指導目標を達成するために必要な項目を、選んでみましょう。（チェックする）

選 定 さ れ た 項 目	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握		
	<input type="checkbox"/>	(1)生活リズムや生活習慣の形成に関する事	<input checked="" type="checkbox"/> (1)情緒の安定に関する事	<input checked="" type="checkbox"/> (1)他者とのかかわりの基礎に関する事	<input type="checkbox"/>	(1)保有する感に関する事
<input type="checkbox"/>	(2)病気の状態の理解と生活管理に関する事	<input checked="" type="checkbox"/> (2)状況の理解と変化への対応に関する事	<input checked="" type="checkbox"/> (2)他者の意図や感情の理解に関する事	<input type="checkbox"/>	(2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事	<input type="checkbox"/> (2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事
<input type="checkbox"/>	(3)身体各部の状態の理解と養護に関する事	<input type="checkbox"/> (3)障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事	<input checked="" type="checkbox"/> (3)自己の理解と行動の調整に関する事	<input type="checkbox"/>	(3)感覚の補助及び代行手段の活用に関する事	<input type="checkbox"/> (3)日常生活に必要な基本動作に関する事
<input type="checkbox"/>	(4)障がいの特性の理解と生活環境の調整に関する事	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> (4)集団への参加の基礎に関する事	<input checked="" type="checkbox"/>	(4)感覚統合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事	<input type="checkbox"/> (4)身体の移動能力に関する事
<input type="checkbox"/>	(5)健康状態の維持・改善に関する事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(5)認知や行動の手がかりとなる概念の形成に関する事	<input checked="" type="checkbox"/> (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事
						<input type="checkbox"/> (2)言語の受容と表出に関する事
						<input type="checkbox"/> (3)言語の形成と活用に関する事
						<input type="checkbox"/> (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する事
						<input checked="" type="checkbox"/> (5)状況に応じたコミュニケーションに関する事

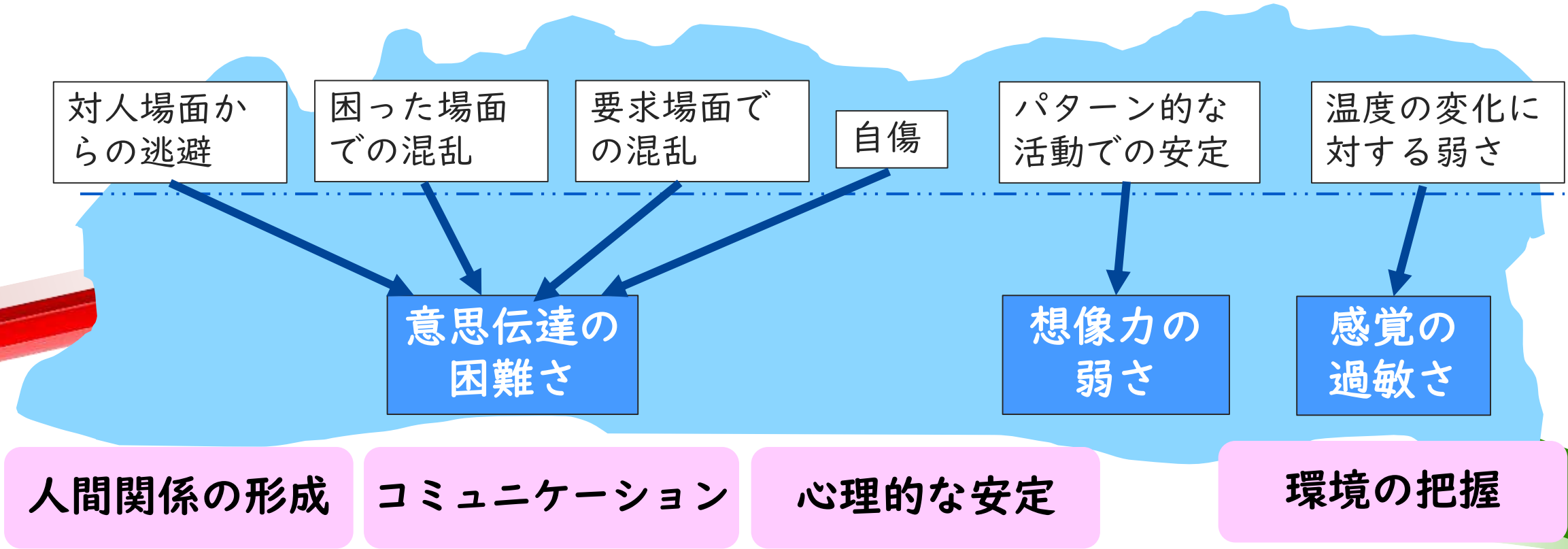
・将来、こころ豊かに生活していくことをめざして、子どもや保護者の願いに沿うものを書きます。  
 ・子どもが困っていたことが少しでも改善・克服され、もっている力が発揮されている姿を考えてみます。  
 ・長期目標は、1年間程度の期間で達成できることを目標にします。

# 自立活動について学ぼう

自立活動の指導を実践していくために、「指導すべき課題は何か…」について考えてみましょう。

子どものホントの願いをつかんで指導に当たっていくために…

## (4) 目標を達成するために必要な「項目の選定」



# 自立活動について 学ぼう



自立活動の指導を実践していくために、「指導すべき課題は何か…」について考えてみましょう。

子どものホントの願いをつかんで指導に当たっていくために…

## (5) 選定した項目を関連付けた「具体的な指導内容の設定」

### <配慮事項>

- ◇主体的に取り組む指導内容
- ◇改善・克服の意欲を喚起する指導内容
- ◇発達の進んでいる側面を更に伸ばすような指導内容
- ◇自ら環境と関わり合う指導内容
- ◇自ら環境を整える指導内容
- ◇自己選択・自己決定を促す指導内容
- ◇自立活動を学ぶことの意義について考えさせるような指導内容

# 自立活動について学ぼう



自立活動の指導を実践していくために、「指導すべき課題は何か…」について考えてみましょう。

## 子どものホントの願いをつかんで指導に当たっていくために…

た項目	<input type="checkbox"/>	解と養護に関すること	<input type="checkbox"/>	善・克服する意欲に関すること	<input type="checkbox"/>	と	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
	<input type="checkbox"/>	(4)障がいの特性の理解と生活環境の調整に関すること	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	(4)集団への参加の基礎に関すること	<input type="checkbox"/>	(4)感覚統合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること	<input type="checkbox"/>	(4)身体の移動能力に関すること	<input type="checkbox"/>	(4)コミュニケーション手段の選択と活用に関すること
	<input type="checkbox"/>	(5)健康状態の維持・改善に関すること	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		(5)認知や行動の手がかりとなる概念の形成に関すること	<input type="checkbox"/>	(5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること	<input type="checkbox"/>	(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること	

### 4 具体的な指導内容の設定

指導目標を達成するために、「選定された項目」を関連づけて、具体的な指導内容を1〜3つ

・選定した項目を関連付け、子どもにとって具体的な指導内容を設定します。

具体的な指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>人と合わせることの楽しさを味わう。</li> <li>担任との信頼関係づくり</li> <li>・ブロック遊び</li> <li>リズムや息を合わせる</li> <li>・窓ふき、歩く、数える、戦い遊び</li> <li>いろいろな音読を経験する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団での活動の中で、友達の気持ちを聞いたり、ルールに沿って楽しんだりする。</li> <li>気持ちが落ち着く方法を考え見通しを持てるようにする</li> <li>・同じパターンの繰り返し</li> <li>相手の気持ちを知る、話</li> <li>・吹き出し等で考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のめあてをもって、楽しみながらサーキットやヨガ等の運動に挑戦する。</li> <li>・身体を支える力、ボディイメージ、身</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のひととき</li> <li>・休憩時間</li> <li>・掃除</li> <li>・各教科</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動は学校の教育活動全体を通じて行うことが基本です。</li> <li>・指導場面の欄には、優先度の高いものを書きます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを主体として書きます。</li> <li>・本人の得意なことをさらに伸ばすことによって、苦手な側面を補い、成就感を味わうことができる内容を取り上げます。</li> <li>・必要に応じて、周囲の人に支援を求めることができるような内容も計画的に取り上げます。</li> <li>・自己を肯定的に捉えることができる指導内容を取り上げます。</li> <li>・自己選択・自己決定する機会を設けることによって、思考・表現する力を高めることができるような指導内容を設定します。</li> </ul>

# 自立活動について 学ぼう



アンケートから

Q 「ADHDの児童に対する対応に困っている。」

「ADHD傾向，ASD傾向の児童に気持ちの切り替えやコントロールの仕方，気持ちの伝え方をどのように指導したらよいか。」

A：正直なところ…

子どもの実態は？（課題だけでなく，好きなこと，得意なことは？）  
行動の背景について，「なぜ？」と考え続けることが大切。

# 自立活動について 学ぼう



アンケートから

Q 「情緒学級の自立活動の授業での取り組み方。学年が4つもあるのですがどのように取り組むのか悩んでいる。」

A：自立活動の指導は、「それぞれの児童生徒の実態に応じて指導内容が設定される個に応じた指導」であるため、個別指導の形態で行われることが基本です。しかし、学級や学習場面においては、複数の児童の指導を行わなければならない。または、集団での活動の方が効果的な場合もある。そんな時は…



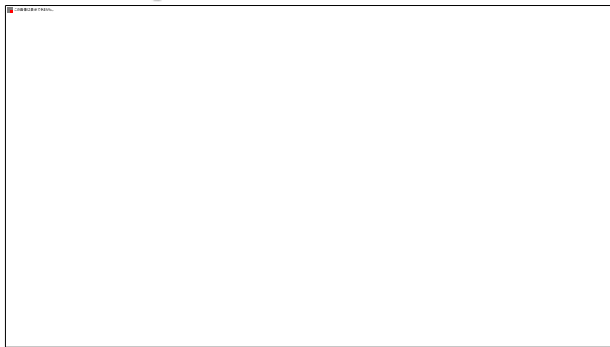
# 自立活動について学ぼう

例えば…

子どもの課題に  
応じた内容

子どもの好きな  
活動など…

「ミッションをクリアして、〇〇しよう!」



# 自立活動について 学ぼう

子どもの課題  
に応じた内容

子どもの好き  
な活動など…

例えば…

「ミッションをクリアして、〇〇しよう！」

同じ活動でも、実態に応じて「目標」「内容」「方法」などが異なる。  
なぜ、その「目標」「内容」「方法」なのかを説明できることが大切。

# 自立活動について 学ぼう

特別支援学級の子どもたちの自立活動と「感覚統合」  
「書くことが苦手。」  
「注意力・集中力が続かない。」  
「苦手な感覚（音，触覚など）がある。」など…



→関係する指導区分「環境の把握」

目と手の協応動作

感覚 (※) 入力

感覚過敏 など



※視覚，聴覚，触覚，前提覚，固有受容覚

# 自立活動について 学ぼう



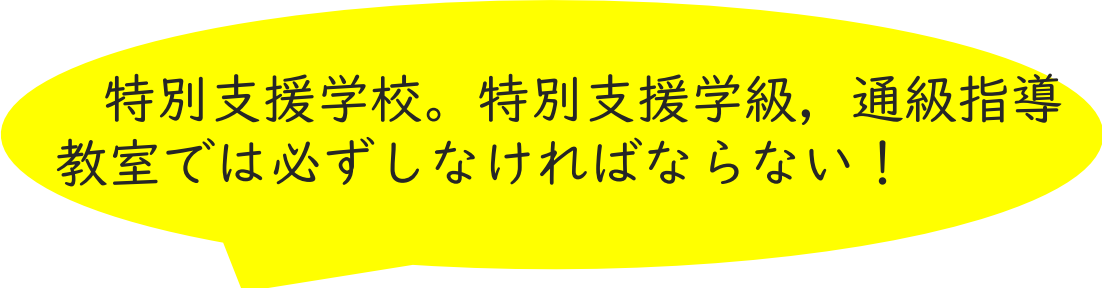
## 自立活動とは

- 特別支援学校の教育課程において設けられている指導領域です。
- それぞれの児童生徒の実態に応じて指導内容が設定される個に応じた指導です。
- 障害による学習上・生活上の困難さを改善・克服していく指導です。



# 自立活動について 学ぼう

## 自立活動とは（まとめ）



特別支援学校。特別支援学級，通級指導  
教室では必ずしなければならない！

- 障害のある子どもたちにとって必要な指導である。
- 選定された区分や項目，具体的な指導内容の設定に答えはない。
- 実践しながら，子どもの姿から絶えず修正できることが大切である。

# 自立活動について 学ぼう



## 参考資料

- 「特別支援学校学習指導要領解説・自立活動編」
- 「知的障害特別支援学校の自立活動の指導」  
全国特別支援学校知的障害教育校長会
- 「自立活動ハンドブック」 山口県総合教育センター
- 「自立活動ってなんだろう？」 島根県教育センター
- 「自立活動の内容整理表」 島根県教育センター

## さいごに・・・



子どもの発達は『環境に働きかけ、環境との相互作用を通して、豊かな心情、意欲及び態度を身に付け、新たな能力を獲得していく過程である。』

自立活動の指導は、全ての児童生徒に対して、学校の教育活動全体を通して指導を行っていきます。自立活動は、児童生徒一人一人の実態に対応した活動であり、よりよく生きていくことを目指した主体的な活動を促す教育活動です。児童生徒が学習や生活場面において「これができたら、ここが改善されたら、学習や生活がもっと楽しくなるだろうな…」を指導目標にして、指導内容や方法等を設定・工夫し、指導を行っていきます。

私自身、担任間、保護者や関係機関等と連携し、子どもたちと共に、その困難さとの付き合い方を探り、身に付けていくことができるように、一人一人の実態や課題に応じた「必要な『支援』」を行いながら、「適切な『指導』」の充実に努めていきたいです。